

祈りと救済の美



南都大安寺と 観音さま展

2012年(平成24年)

8月30日(木)~10月10日(水)

期間中展示作品の一部入替えがあります。

会期中無休

■同時開催

2012年8月30日(木)~10月10日(水)
熊谷守一展 — 孤高の青空 —

記念講演会・座談会

10月5日(金)

講師 河野良文 (南都大安寺管主)
西山 厚 (奈良国立博物館学芸部長)

午前10時から11時 会場 いなべ市大安公民館
講演会「大安寺の歴史と大安町」河野良文

午前11時15分から12時 会場 いなべ市大安公民館
座談会 河野良文、西山厚

午後2時から3時30分 会場 パラミタミュージアム
講演会「観音信仰について」西山 厚

講演会 赤川一博 (当館学芸企画部長)

各回とも午後2時から3時30分

9月2日(日)「仏像入門—仏像の世界」

9月16日(日)「仏像入門—仏像の見方・楽しみ方」

9月22日(土)「大安寺の歴史と仏さま」

9月30日(日)「観音さまの見方・楽しみ方」

10月8日(月・祝)「観音菩薩の名作」



重文「木造楊柳観音菩薩立像」(奈良県・大安寺)
画像提供:奈良国立博物館(撮影 森村欣司)
9/20より展示



重文「木造十一面観音菩薩立像」(三重県・瀬田区有)
画像提供:三重県史観さん室



「金銅如意輪観音像」(大和文華館蔵)

【開館時間】午前9時30分~午後5時30分
(入館は5時まで)

【入館料】一般1,000円(4枚セット券3,000円)
大学生 800円/高校生 500円
中学生以下無料

【主催】公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム
【後援】いなべ市、中日新聞社、NHK津放送局、
三重テレビ放送、伊勢新聞社、読売新聞社、
日本経済新聞社、毎日新聞社、朝日新聞社、
シー・ティ・ワイ、ケーブルネット鈴鹿、近畿日本鉄道

【特別協力】大安寺

【協賛】フコク印刷工業

【助成】芸術文化振興基金

南都大安寺と観音さま展

三重県北勢地方には大安町という町があります。この町名は南都大安寺の食封が「員弁郡宿野原」にあったことになんて、昭和34年に名づけられたのでした。当館の名称「パラミタ」の由来となった『般若心経』も観音菩薩と深い関係があり、奇しくも、当館には「長快作 長谷寺式十一面観音像（鎌倉時代）」が常設展示されています。おそらく、観音菩薩ほど私たちに身近な仏さまは居られないでしょう。じつは、世界中を見渡しても、日本ほど観音菩薩像が沢山制作された国はありません。なぜ、わが国にだけこれだけ観音信仰が盛行したのでしょうか。本展では、地元ゆかりの大安寺の名宝と歴史、そしてわたしたちにとって、もっとも身近な仏さまである観音菩薩の名作を約50点（内重要文化財14点）を展示し、その中に日本の心の原点を探ってみたいと思います。



「木造十一面観音菩薩立像」(三重県・真教寺)
画像提供/三重県中継ぎん室



重文「木造馬頭観音立像」(奈良県・大安寺)
画像提供/奈良国立博物館 撮影/森村欣司



重文「木造観音菩薩坐像」(愛知県・平勝寺)
画像提供/豊田市郷土資料館



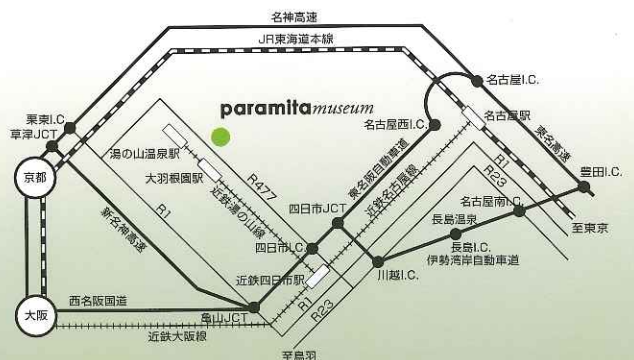
重文「木造十一面観音菩薩立像」(和歌山県・内満寺/和歌山県立博物館寄託)
画像提供/和歌山県立博物館



「銅造楊柳観音菩薩立像」(浜松市美術館蔵)



「銅造菩薩立像」(愛知県・修法寺/西尾市岩瀬文庫寄託)



次回展覧会予告
 福富太郎コレクション
 鑑木清方と美人画名作選
 一 描かれた日本の美 一
 [会期] 2012年10月13日(土)～12月2日(日)